

目次 RESEARCH IN EXERCISE EPIDEMIOLOGY Vol.17 No.2

巻頭言	理学療法と運動疫学 野村 卓生（関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻）	
総説	The Potential Effects of the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games on Physical Activity Participation at the Population Level	75
	Adrian Bauman（School of Public Health, Sydney University）et al.	
	労働衛生と体力科学	81
	松尾 知明（独立行政法人労働安全衛生総合研究所健康研究領域有害性評価研究グループ， 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙医学生物学研究室）	
	三軸加速度センサー内蔵活動量計を用いた身体活動量，座位行動の調査と身体活動疫学 研究への応用	90
	熊谷 秋三（九州大学基幹教育院，人間環境学府）他	
	運動疫学研究に活用可能な新しい解析アプローチ ～Isotemporal Substitution Model～	104
	笹井 浩行（筑波大学医学医療系，日本学術振興会）他	
資料	介入研究によるエビデンスの「つくる・伝える・使う」の促進に向けた基盤整備への 呼びかけ ～日本運動疫学会プロジェクト研究～	113
	中田 由夫（筑波大学医学医療系）他	
連載	日本の運動疫学コホート（9） JACC Study	118
	玉腰 暁子（北海道大学大学院医学研究科公衆衛生学分野）他	
第18回学術総会	第18回日本運動疫学会学術総会開催報告	121
	【学術総会会長企画シンポジウム：身体活動促進に関する世界の動向】	
	Lancet Physical Activity Observatory について	123
	井上 茂（東京医科大学公衆衛生学分野）	
	身体活動政策のための Policy Audit Tool (PAT) の役割と今後の展望	124
	武田 典子（工学院大学基礎・教養教育部門）	
	子どもの身体活動促進のための Active Healthy Kids Report Card について	125
	田中 千晶（桜美林大学総合科学系）	
	Are we making a difference yet?	126
	Fiona Bull（Centre for the Built Environment and Health, The University of Western Australia）	
	【特別企画シンポジウム：東京オリンピック・パラリンピック・レガシーと 身体活動・運動・スポーツの推進—学術はどう貢献できるか】	
	基調講演：スポーツには世界と未来を変える力がある	127
	布村幸彦（公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会）	
	オリンピック・レガシーとは ～無形のレガシーづくりに向けて～	128
	間野 義之（早稲田大学スポーツ科学学術院）	
	The effects of events such as the Olympic Games on physical activity participation at the population level	129
	Adrian Bauman（School of Public Health, Sydney University）	

東京オリンピック・パラリンピックに向けて運動疫学の果たす役割	130
鎌田 真光 (Brigham & Women's Hospital, Harvard Medical School, 国立健康・栄養研究所)	
【イブニングセミナー：日本運動疫学会認定プロジェクト研究の紹介】	
介入研究によるエビデンスの「つくる・伝える・使う」の促進に向けた基盤整備 ～日本運動疫学会プロジェクト研究の計画～	131
中田 由夫 (筑波大学医学医療系) 他	
運動疫学セミナーの評価に関する調査研究 ～日本運動疫学会プロジェクト研究の計画～	132
笹井 浩行 (筑波大学医学医療系, 日本学術振興会) 他	
【学術委員会企画 基調講演】	
座位行動の科学	133
岡 浩一朗 (早稲田大学スポーツ科学学術院)	
【学術委員会企画 教育講演①】	
健康づくり介入研究の実施方法および留意点	134
中田 由夫 (筑波大学医学医療系)	
【セミナー委員会企画 教育講演②】	
I-Min Lee 先生に学ぶ身体活動量と疫学研究 ～特に女性に着目して～	135
小熊 祐子 (慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科)	
【一般演題】	136
インフォメーション	
第16回 運動疫学セミナー終了のご報告	167
日本運動疫学会会員・賛助会員募集のご案内	169
「運動疫学研究」投稿規定	170
編集後記 井上 茂	